

いわてで、もっとワクワクしたい。



いわて  
若者カフェ

# 若者ってなんだろう。

若者のエネルギーというものは、とても強く熱いものです。  
ところがひとりやふたりの力では叶えられないということもあります。

いわて若者カフェは若者同士の交流を促進し、  
若者の主体的な活動を発信する場として、  
岩手県公会堂地下に開設した交流活動拠点です。  
若者がやりたいことのために人と人を繋げたり、  
発表するステージとなったり、ただ楽しいだけのお話をしたり、  
いわて若者カフェはそんな存在でありたいと思っています。

いわて  
若者カフェ

## 目次

02 いわて若者カフェのこと・目次

03 いわて若者カフェ施設紹介

04 「Co.Nex.Us」・連携交流ミーティング

05 カフェマスター紹介

06 若者団体実態調査アンケート

07 いわて若者アクションマップ

08 いわてつがく鼎談  
「若者が岩手で活躍するために必要なモノ・コトとは？」

09 瀬川 然 × 白山 小麦 × 五郎丸 千尋 × 高橋 和氣  
ネビラキ代表 大船渡地域おこし協力隊 岩手県立大学学生 株式会社Wakey

10 いわて若者アイデア実現補助事業の紹介



### 交流スペース

定員：8人

様々な団体との打合せ・個人利用としての小スペースとして利用することができます。

打合せ・ボードゲーム  
勉強・PC作業・読書  
飲食OK



### イベントスペース①

定員：20名

若者団体の普段の活動場所や、イベントの会場として利用できます。スペース内では、テーブル、椅子を自由に配置できます。

打合せ・イベント会場  
音楽ライブ・セミナー・漫才交  
流会・ワークショップ



### 情報発信スペース

定員：5人

パネルやポスターを使って自己の活動状況を展示し、他の利用者等にPRができるほか、ミニスタジオ機能を有しているので、インターネットを活用して団体活動を情報発信することが可能です。

打合せ・イベント会場  
ボードゲーム・勉強  
PC作業



### イベントスペース②

定員：10人

若者団体の普段の活動場所や、イベントの会場として利用できます。スペース内では、テーブル、椅子を自由に配置できます。

打合せ・イベント会場  
ボードゲーム・勉強  
PC作業

# 若者カフェ の 活用のしかた

いわて若者カフェでは「イベントスペース①・②」「交流スペース」「情報発信スペース」の4つのスペースを団体利用・個人利用として無料で利用することができます。開館中はサポートスタッフが常駐していますので、普段の活動やイベントの相談、就活や進路相談、探究学習の相談、推しの話など…サポートスタッフがなんでもご相談にのります。※団体利用の予約には、いわて若者交流ポータルサイト「Co.Nex.Us」(コネクサス)への団体登録が必要です。

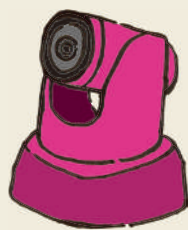
【開館時間】 ※祝日・年末年始等は除く

木・金曜日 16:00～20:00

土・日曜日 9:30～17:30



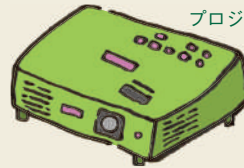
IHコンロ



PTZカメラ



三脚



プロジェクター



ホチキス



コピー用紙



ブロッキー



ラミネーター



延長コード



マイク



スケッチブック



ノートパソコン



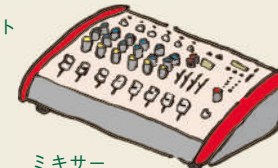
養生テープ



付箋



ヘッドセット



ミキサー



ビデオカメラ



はさみ



撮影用照明



モニター

## 無料で貸し出しできるモノ一覧



# いわて若者交流ポータルサイト



## 登録者募集中！



### Co.Nex.usとは？

Co.Nex.us（コネクサス）は、若者（個人・団体）の発信拠点・交流の場として岩手県が運営する公式サイトです。若者が登録して、プロフィールの公開・活動状況の報告や各種告知などを行うことができます。また、団体登録をしていただくと、若者カフェのスペースを予約できるようになります。

### 登録方法

- 1 Co.Nex.usサイトの新規団体登録ページのフォーム内容を入力送信し、申請する。  
※団体名のほかに住所・電話番号・メールアドレス・団体規約の添付などが必要です。
- 2 申請内容と団体規約が確認された後、運営側の判断のもと登録を承認いたします。  
承認されますと承認メールが送信されますので内容に沿ってログインしてください。
- 3 承認メールにはログインするためのURL・グループID・パスワードが記載されています。  
大切に保管してください。

HPは  
こちらから



コネクさん

【公式サイト】 <https://iwatewakamono.net/>



### Co.Nex.usに登録すると…



#### イベント周知・報告

登録団体が主催する案内・報告記事を作成・発信することができます。



#### 施設予約

事前にいわて若者カフェの施設予約が可能となります。



#### イベント周知・報告

メールマガジンを通じて若者向けの最新情報をお届けします。

## 連携交流ミーティング

## EVENT REPORT

じゃじゃ麺のように“アイデア”をかき混ぜる

# じえじえ！めん ミーティングin久慈



いわて若者カフェでは参加者である若者が楽しみながら地域課題を考えることができる体験や活動を取り入れたイベント「連携交流ミーティング」を開催しています。今回は2023年9月10日(日)に久慈市で開催した「じえじえ！めんミーティングin久慈」をご紹介します！

Activity

01



### 地域の魅力や課題を探る 街なかフィールドワーク

街なかフィールドワークでは、久慈広域観光協議会の貫牛利一さんのガイドのもと、久慈市内の地域散策。久慈港や市街地を歩きながら、久慈市の自然豊かな魅力や歴史・商店街の課題について学ぶ機会となりました。



Activity

02

### 地域課題解決のヒントを聴く カフェマスターのトークセッション

カフェマスターの嵯峨恒宏さん、一般社団法人studio-Lの出野紀子さんを講師にお招きして、久慈市での取り組み事例、コミュニティデザインの可能性についてお話をいただきました。



Activity

03



### アイデアをかきまぜろ！ テーマ別アイデア交換会

県北地域で活動している若者4名に活動紹介をしていただき、紹介いただいた活動がより面白くなるために必要なアイデアについて、年齢や所属がバラバラな参加者が混ざり合ってアイデア交換会を行いました。

いわて若者カフェをサポートする

# カフェマスター

地方創生、課題解決に向けて行動を起こそうとする若者たちを多角的にサポートするため、地域づくり、起業、IT等の様々な分野で活躍する県内の人材をカフェマスター（講師）として委嘱し、若者とのミーティングなどを実施しています。

さらに、令和4年度から、若者が訪れやすい空間から地域の若者にアドバイスできるカフェマスターがいる場所4ヶ所に対し、いわて若者カフェの「連携拠点」と位置づけて、県の取組への御協力をお願いしています。



食産業

株式会社小松製菓  
執行役員

青谷 耕成

二戸市

秋田県出身。アパレル業、ホテル業等を経て、平成15年株式会社小松製菓入社。平成21年、南部せんべいを粉々に砕いた「チョコ南部」を開発。令和2年「二戸市特産品開発推進協議会」会長に就任。令和4年、二戸のファンクラブ「秘密結社にのへシャドーズ」を結成。現在は、自社商品企画と二戸地域の振興を両輪として活動中。



起業人材育成

(株)ルミナス・アンド・カンパニー  
代表取締役

川村 真耶

盛岡市

盛岡市出身。上智大学卒業後、アパレル企業の人事部にて人材教育を、転職先のIT企業にて新規事業の立ち上げを経験し、平成29年にIT/人事コンサルティング・キャリア支援事業を行う(株)ルミナス・アンド・カンパニーを創業。大学から10年ほど東京で過ごしたのち、2021年4月より地元の盛岡市に生活拠点を移し、岩手⇄東京の二拠点にて活動している。



起業・地域づくり

NANAMARUNI COFFEE  
オーナー

嵯峨 恒宏

久慈市

久慈市出身。地元でカフェをオープンするためにUターン。「久慈っぽくない」をテーマに店内の装飾に拘り、月替わりの商品開発を精力的に行っている。久慈に県内外からたくさんの人を呼びたいとの思いから、常に新しいイベントや若者と作り上げるイベントを開催している。「NANAMARUNI COFFEE をきっかけに久慈市に興味を持ってもらう事」を目標に、若者と地域を繋げるカフェを目指している。



地域づくり

合同会社ハルノ企画  
代表社員

櫻井 陽

一関市

一関市出身。大学卒業後、宮城県庁を経て、2016年に地域おこし協力隊として一関にUターン。20代のまちづくり団体「TAKUMARU」の立ち上げなどを経て、一関市で企画・広報支援事業を個人で開業。2022年に《合同会社ハルノ企画》を設立。地域へのやってみたいを企画でサポートし、地域ではじめる人（ローカルプレイヤー）が増えることを目指して活動している。



地域づくり

sasatta.llc  
代表取締役 CEO

南條 亜依

紫波町

福島県出身。大学3年生の春休みにインターンで訪れた紫波町に運命を感じ、2019年6月、大学在学中に会社を設立。2019年10月より紫波町地域おこし協力隊として紫波町に移住。日詰商店街の空き家となっていた古民家を改修し「YOKOSAWACAMPUS（ヨコサワキャンパス）」という若者の拠点を整備。チャレンジしてみたい学生の挑戦を後押ししている。



地域づくり

NPO 法人みやっこベース  
理事長

早川 輝

宮古市

福岡県出身。東日本大震災の災害ボランティアとして宮古市で活動をスタート。2013年2月、任意団体「ユースみやっこベース」を設立。「高校生サミット」の開催や、フリースペース「みやっこハウス」のオープンなどを経て、2015年9月に「NPO 法人みやっこベース」として法人化。「若者が活躍できるまち・宮古」をテーマに、まちづくりに励んでいる。



ICT・地域づくり

(一社)トナリノ  
マネージャー

山本 健太

陸前高田市

福岡県出身。東日本大震災の災害ボランティアを通じて陸前高田市と出会い、2012年4月に移住。地元NPOのスタッフとして、仮設商店街の事務局や市民活動の中間支援を担当した後、2017年1月よりトナリノにて若者が生きる力を身につけるための伴走者として、企画立案や調達等の補助を行う。2023年4月よりデジタル庁非常勤専門職として兼業で従事。

カフェマスターの  
最新情報は  
こちら

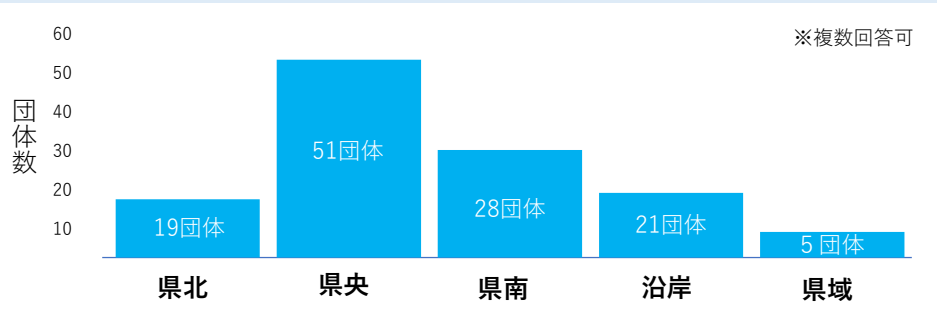


# 岩手の若者団体のホンネを聞く！ 若者団体実態調査アンケート

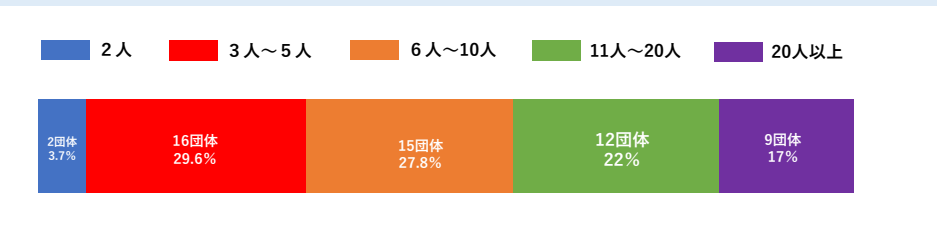
岩手県内で活動する若者団体の活動実態および活動上における課題感などを把握することを目的として、岩手県内の若者団体を対象としたアンケート調査を実施しました。アンケート結果の詳細は「Co.Nex.Us」にて公開しています。

調査対象：岩手県で活動する若者団体  
回答数：54団体

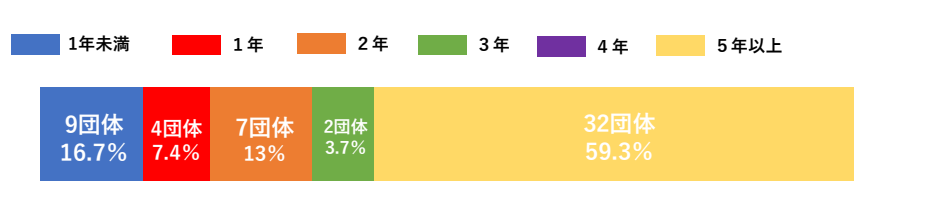
## Q1 普段活動しているエリアを教えてください。



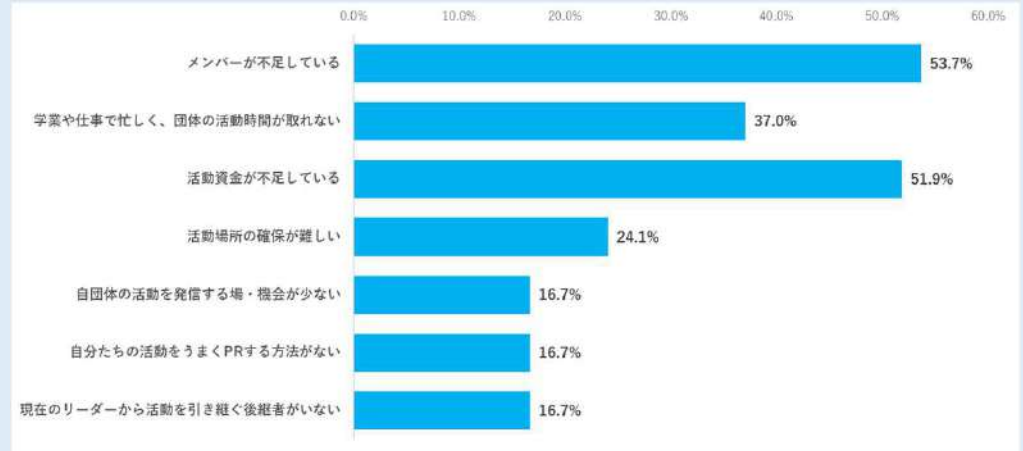
## Q2 普段の活動人数を教えてください。



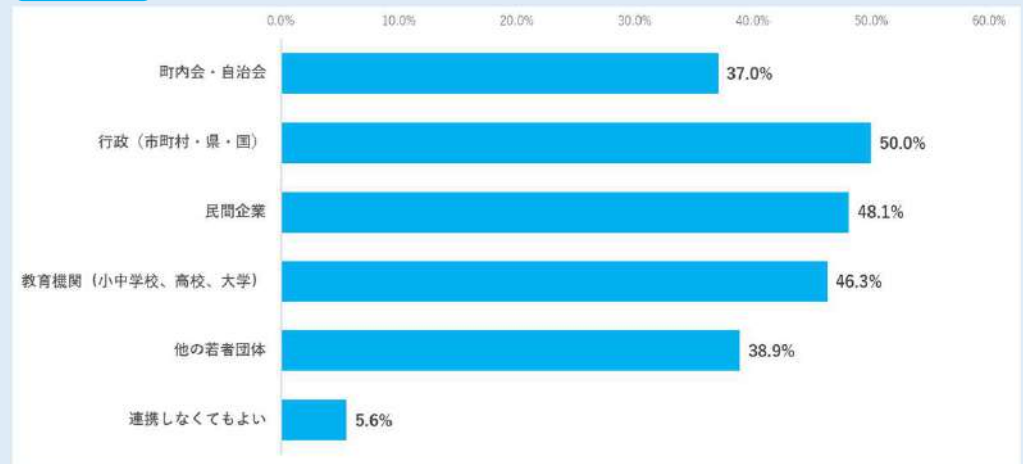
## Q3 団体発足後の活動年数を教えてください。



## Q4 活動上で抱えている課題を教えてください。



## Q5 今後連携していきたい団体・組織



詳細はこちらからご覧いただけます。▶





岩手の若者団体の生態系を知る

# いわて若者アクションMAP



「Co.Nex.Us」に団体登録している若者団体と若者応援団体、いわて若者カフェの連携拠点を紹介！

## 【県央エリアCo.Nex.Us登録団体】

- ・東北ふるさとづくりパートナーズ
- ・もりおか女性センター
- ・一般社団法人盛岡青年会議所
- ・Young Entrepreneurs運営委員会
- ・岩手大学男女共同参画推進学生委員会
- ・岩手大学まちづくりサークルNPCN
- ・MAKE the LINE
- ・こどもの夢応援プロジェクト
- ・玉山区農産物PRプロジェクト
- ・北ウェルC K B (地域活性部)
- ・シェアピース
- ・ランプアップいわて
- ・紫波の四季
- ・公益財団法人ふるさといわて定住財団
- ・アイビーナ
- ・PLELL
- ・StormGlass.Lab
- ・MORI cafe
- ・特定非営利活動法人ハナレヤ
- ・岩手発超人スポーツ ロックハンドバトル 開発チーム

- ・古館まちづくりの会情報発信チーム
- ・いわてレインボーマーチ
- ・いわて学生ボランティアネットワーク
- ・山岸6丁目羊毛の会
- ・盛岡という星でプロジェクト
- ・(一社)未来を創るどうぶつ医師団
- ・NPO法人チャリティーサンタ盛岡支部
- ・特定非営利活動法人IRCプロジェクト
- ・岩手大学劇団かっぱ
- ・しわりり
- ・タキザワコレカラカイギ
- ・English Cafe in Morioka
- ・岩手もりおか学生デジコン実行委員会
- ・一般社団法人カダル
- ・木彫熊通信社
- ・岩手大学クラフトビール部
- ・イワテノオト
- ・盛岡人狼ゲーム会
- ・岩手大学学生団体 さんもり
- ・一般社団法人クロスが盛岡
- ・株式会社イノベーションラボ岩手
- ・盛岡ポドゲストリート
- ・趣味サークル令和さん

## 【Co.Nex.Us登録団体】

- ・東北ふるさとづくりパートナーズ
- ・アイビーナ
- ・特定非営利活動法人ハナレヤ
- ・特定非営利活動法人 夢追座
- ・チームケロ平
- ・西和賀まるごと食ってみでける隊
- ・Project Manzu

- ・一般社団法人花巻青年会議所
- ・一般社団法人北上青年会議所
- ・一般社団法人遠野青年会議所
- ・いわて県南アートプロジェクト
- ・SORA
- ・東和棚田のんびりRun実行委員会
- ・平泉のかをり創造プロジェクト

## ★いわて若者カフェ連携拠点 ハルノバ (一関市)

岩手県一関市大町4-11  
カフェマスター：櫻井 陽さん



【県南エリア】

【県北エリア】



## ★いわて若者カフェ連携拠点 NANAMARUNI COFFEE (久慈市)

岩手県久慈市二十八日町2丁目2 1  
カフェマスター：嵯峨恒宏さん

## 【県北エリアCo.Nex.Us登録団体】

- ・LIGHT UP NIPPON 野田村実行委員会
- ・カシオペア農村青年クラブ
- ・いわて高等教育コンソーシアム地域課題解決プロジェクト：さんてつ活用推進チーム
- ・いろいろ再生協会

【沿岸エリア】



## ★いわて若者カフェ連携拠点 みやっこハウス (宮古市)

岩手県宮古市末広町8-24  
カフェマスター：早川 輝さん



## ★いわて若者カフェ連携拠点 コワーキングスペースヤドカリ (陸前高田市)

岩手県陸前高田市高田町大隈93-1  
カフェマスター：山本 健太さん

## 【沿岸エリアCo.Nex.Us登録団体】

- ・一般社団法人SAVE TAKATA
- ・若興人の家
- ・三陸ブランド創造隊
- ・認定特定非営利活動法人桜ライン311
- ・陸前高田ばばばTV
- ・特定非営利活動法人SET
- ・一般社団法人KEEN ALLIANCE
- ・モーリィのちからこぶ
- ・一般社団法人久慈青年会議所

- ・特定非営利活動法人クチェカ
- ・一般社団法人陸中宮古青年会議所
- ・一般社団法人大船渡青年会議所
- ・つびたあれいわいずみ実行委員会
- ・ほ〜でなす釜石
- ・チームいただきます
- ・三陸聖地化委員会
- ・一般社団法人マルゴト陸前高田
- ・釜石よいさ実行委員会

- ・陸前高田食と農の森
- ・つむぐ
- ・一般社団法人おらが大槌夢広場
- ・NPO法人みやっこベース
- ・いわて高等教育コンソーシアム地域課題解決プロジェクト：さんてつ活用推進チーム

いわてつがく鼎談  
「若者が岩手で活躍できるために  
必要なモノ・コトとは？」



五郎丸 千尋  
岩手県立大学  
総合政策学部 4年

高橋) 今回のテーマが「若者が岩手で活躍できるためには」ということで、登壇者の3人がそれぞれ活動しているフィールドのお話も聞きながら、それぞれの地域の中で若者が「活躍」というより「どうしたらいきいきとできるか」について探っていきたいと思っています。

五郎丸) 私は軽米町出身で、「いわてイノベーションスクール」というプログラムに参加し、人と人をつなげたり、「おすそわけの精神」をアップデートしていく「wake&wake」という活動をしています。春からは県外の企業に就職する予定ですが、県外で学びながらゆくゆくは岩手県に戻ってきたいと考えています。

白山) 私は長野県出身で、大学進学で東京に出て、新卒で大船渡市に移住してきました。現在、地域おこし協力隊として、「CT利活用推進」というミッションをいただき、Webメディアの記事執筆、SNS運用などをメインで行っています。

瀬川) ずっと西和賀生まれ・西和賀育ちです。高校卒業後は西和賀町の第3セクターに就職し、10年くらい働いた後に起業し、雪深い西和賀町の自然を体験するネイチャーガイドや、錦秋湖の近くにある空き家を改修してカフェを運営しています。

高橋) 西和賀町は四季折々の色々な表情や自然の素晴らしさがありますが、どんどん人口減少が進み、集落の「消滅可能性」という言葉も上がってきているかと思っています。瀬川さんは地元の若者として何か思うところはありますか？

瀬川) 西和賀町は人口減少が進むスピードも早く、何とかしないとと思った時期もあったのですが、次々と課題が出てくることで、逆に何かしようとする自分のようにカフェをやり始めたりする人が出てきていると感じるようになりました。いきなり何かを新しいことを始めようとするとハレーションが起きたりすることもありますが、徐々に進んでいければとも思っています。

高橋) 高齢化・人口減少が加速化していく地域だと変化を感じやすい・見えやすいところなのかもしれないですね。白山さんも大船渡市に移住して、地域の方から歓迎の言葉などあったりしましたか？

白山) どうでしょう：歓迎されているのかは分かりかねますが、貴重な20代の人材として受け入れてもらっている感覚はあります。大船渡市には専門学校や大学



高橋 和氣  
(ファシリテーター)  
株式会社Wakey



瀬川 然  
ネビラキ 代表



白山 小麦  
大船渡市地域おこし協力隊



▲wake&wakeのワークショップの様子



がないので、進学を志す若者たちが市外・県外に出ていく現状があり、20代前後の人たちがゴソッと減少します。それゆえなのか、移住者あるあるなのかもしれないませんが、いろんなものに駆り出されて忙しいです。若者が少ないからこそ地域は人手を欲しているし、「こんな課題があるんだけど、あなたどうにかできない？」と私たち若手移住者をスーパーマンか何かだと思っているような相談も最初の頃は多かったです。



▲大船渡市でICT利活用推進事業に取り組む白山さん

高橋) 五郎丸さんは帰省などで軽米町に帰る時に、「これ手伝って」と声をかけられたりしますか？

五郎丸) 若い人の力が欲しい地域に「来てほしい」と言われるだけだともったいないし、若い世代も入りづらいと思う。なんで若い世代の力が必要なのか具体的に伝えてもらえるかわかりやすいです。あと、私たちから地域で提案した時、「前例がないからできない」とか、「分らない」ということでシャットアウトされたことがあって、何かしたいけど地域側もやったことがないのでイメージが湧かない課題はあるかもしれません。

高橋) 何か地域で新しいことを始めようと動こうとしても、前例がないことなのかは特に、「何かあったらどうするのですか」と慎重な意見を言われることもよくありますよね。その中で、少しでも

チャレンジできるような風土があるのがこれから大事になってくると思います。お三方の取り組みや課題感などをお話いただきましたが、今回のテーマを聞いて、それぞれの取り組みや日々感じていることから必要だと思うこと・モノについて伺いたいです。

五郎丸) やろうと言ってくれる方の存在が一番大きいと思います。やりたいことがあって、も、「難しい」と断るのではなく、「それをやるためにはどうしたらいいんだろ」と一緒に考えてくれる方がいると、若者が活躍できるかなと思います。

白山) 私は、働き方や生き方を互いに認め合うような



▲西和賀町でネイチャーガイド・カフェ経営に取り組む瀬川さん

土壌を作っていく必要があると思っています。今は働き方としてリモートワークも普及してきましたし、私自身も「多拠点生活」を目指しています。多拠点生活をしたとて、別に大船渡を離れたたいという訳ではないということとを理解してもらいたいのですが、「それは定住ではない」と言われてしまうこともあります。でも、彼らにとっての「定住」ではなくても離れていても、大船渡市のことを思い、離れながらも大船渡市に関わっている方が、一年中大船渡市にいるよりパワーがあるんじゃないかなと思っています。そういうライフスタイルや多様化していく働き方に対して尊重し合える寛容さが必要だと思っています。まず私が出ることとして、大船渡市での多様な働き方のいちロールモデルとなっていきたいです。

瀬川) 抽象的かもしれませんが、心の声に従って生き生きしている大人が増えると、子どもや若者もその大人の背中を見て伝播していくので、まずは大人が自分のやりたいこと、やりたくないことを理解して、はっきりと見せていくことが大事だと思います。

高橋) 今回のテーマのような議論も若者がどうあるべきかという話が多いですが、むしろ大人側がやりたいことをやる、挑戦する姿を見せることの方が次の世代に繋がっていくかもしれませんね。

※対談内容は取材当時のものとなります。

鼎談の全文はWEBメディア「いわてつがく」にて掲載しております。詳細については左下のQRコードをお読み取りください。



最大  
30万円  
補助

若者が考える地域を盛り上げるアイデアを募集!

# いわて若者 アイデア実現補助

自分のアイデアをカタチに  
したい若者の皆さんへ

岩手県では、震災復興や地域づくりなどに関して、若者のグループ自らが地域の課題解決や地域の元気創出に資する事業を実施することへの支援を目的として、若者グループの独創的、先進的な事業の企画提案を募集します。



◀詳細は岩手県HPを  
ご参照ください。

## 令和3年・5年度採択団体岩手大学クラフトビール部にインタビュー!

### Q1.活動をはじめたきっかけを教えてください

A.岩手県では農業の担い手が少なく遊休農地が多いという課題があり、これらの課題を解決するためにお米より短時間に収穫でき、多くの収入も見込める「ビール麦」に焦点を当て、「岩手大学クラフトビール部」を発足しました。現在は紫波町・陸前高田市の遊休農地を活用してビール麦の栽培、ペアレン醸造所にご協力いただきながらオリジナルビールの開発などを行っています。

### Q2.補助金はどのように活用されましたか?

A.ビール麦を育てた土壌を調査・分析するために必要な器具の購入に使わせていただきました。ビール麦を育てることによって土壌改良に良い影響があることが分かれば、農地を貸していただく農家さんにとってよりプラスのメリットがある情報を発信できると思っています。

### Q3.活動を通じて地域の変化や今後の目標を教えてください。

A.活動を継続していくことで次第に色々な地域、農家さんから「一緒に育ててみないか」と声をかけていただくが増えて、少しずつ農家さんの意識も変化して、ビール麦が普及している実感があります。今後はクラフトビール部の目標は国内消費の1%を岩手県産ビール麦にすることを目指して頑張っていきます。



岩手大学クラフトビール部  
代表 山端 脩暉さん

岩手県若者活動交流拠点

## いわて若者カフェ

岩手県盛岡市内丸11-2岩手県公会堂地下

開館時間：木・金曜日 16:00~20:00

土・日曜日 9:30~17:30

[定休日：月・火・水・祝]

(電話) 080-5743-2934

(メール) iwate.wakamonocafe@gmail.com



## ACCESS



【発行】

岩手県環境生活部若者女性協働推進室 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1  
TEL 019-629-5337/FAX 019-629-5354